

3. お知らせ……「第31回自費出版アドバイザー養成講座」開催

4. 自費出版事情 …… ～アドバイザー便り～No.9

☆ 知っとこ 松本 ☆ その5



□□ _____ □□

1. ニュース…第15回NP0認定自費出版アドバイザー合格発表

□□ _____ □□

難関試験で知られるNP0認定自費出版アドバイザーの今年の合格者が決まりました。

8月の1ヵ月間、本で学んだり、現場の人に相談したりしながら、幅広い知識を学ぶ試験です。ほとんどが記述式で、適切な解答が求められます。

今年は4人の方が合格しました。おめでとうございます！

- | | | |
|---------------------|--------|-----|
| 1) 株式会社 日相印刷/日相出版 | 荒井 慶太 | 神奈川 |
| 2) 株式会社 マルフHIME企画出版 | 服部 美紗子 | 愛知 |
| 3) 株式会社 日相印刷/日相出版 | 村上 一 | 神奈川 |
| 4) 株式会社 図書印刷 同朋舎 | 奈良平 靖彦 | 京都 |

□□ _____ □□

2. お知らせ…「2018日本自費出版フェスティバル」開催します

□□ _____ □□

「2018日本自費出版フェスティバル」が10月6日（土）に東京のアルカディア市ヶ谷にて開催されます。今年はいくつかの初めてがあります。

- 1) ボランティアスタッフが活躍します。
- 2) スタッフ全員にスタッフジャンパー支給されます。
- 3) 最終選考会の様子（約5分の動画）が表彰式で流れます。
- 4) 日印産連の特別賞の授与式を行います。
- 5) 今井茂雄さんの寄付セレモニーを行います。

皆さまのご協力をお願いいたします。

□□ _____ □□

3. お知らせ…「第31回自費出版アドバイザー養成講座」開催します

□□ _____ □□

公開講座は「自費出版と書店流通」です。
自費出版本の流通は、なかなかハードルが高いのですが、
取次の社長さんがその現状や対策について話していただけることになりました。

- 公開講座：「自費出版と書店流通」
- 講師：後藤 克寛 氏（株式会社 JRC 代表取締役）
- 日時：2018年10月5日（金）15時20分から
（試験対策講座） 15時20分～16時00分（正答率が低い問題を学びます）
（公開講座） 16時10分～17時40分
（懇親会/別途有料） 18時00分～

申し込み締切は10月3日（水）まで
（添付PDFにてFAXかメールにて受付しています）

※部分参加、懇親会のみ参加も大歓迎です！

□□ _____ □□

4. 自費出版事情 … ～アドバイザー便り～No.9

□□ _____ □□

第5回自費出版アドバイザー 認定番号No.40
有限会社一粒社 都築 延男

「あと何年」という言葉

私の日常には、最近「あと何年」という言葉がやたら多くなったと感じます。
我が家の愛犬である12歳の柴犬は、あと3年位が寿命かなと思われます。
あとは犬を飼えれんから大事に飼おうなどと、夫婦で会話をしています。

先日、歯医者さんでの出来事でした。
私の奥歯の銀の詰め物が外れてしまい、お医者さんに丈夫な込み物はないかと聞きますと、金の込み物は保険適用外ですが、柔らかく馴染んで丈夫ですとの回答がありました。

そこで、すぐゴールドにしますと回答しました。42,000円です。
その後、型を取り、新しく付けてもらい女房に話したところ、
「あんた、あと何年生きるつもり」と聞いてきましたので、
「100歳まで生きるつもり」と答えました。

すると女房は、あと10年位で逝くとしたら勿体無いと言いたかったみたいですが、さらに
「100歳まで誰があんたの面倒を見るの」と聞いてきます。
そのような会話は、以前なかった気がします。

社長から責任の薄れた会長になって早3年経ち、
71歳の今日この頃です。

□□ _____ □□

☆ 知っとこ 松本 ☆ その5

□□ _____ □□

食欲の秋がやって来ましたね。ストレートに「食」について…とも

思ったのですが、まずその前に信州全体を知っていただいた上で来月からは「食」を語っていきこうかと思えます。

ご存知のように長野県は「信濃」「信州」と呼び名がいくつもあります。「シナノ」の名前の由来は諸説ありますが、1300年以上前の文献や古事記に「科野国」の表記が存在します。その後713年の「好字二文字化令」により「信野」→「信濃」と文字を改め、以後は「信濃国」に表記されるようになりました。

「シンシュウ」については、中国に真似て「クニの漢字1文字+州」という呼び方が流行った時代の名残のようです。こちらは「紀州」や「甲州」などもありますよね。

信濃国の国府は筑摩（つかま）県にあり、上田地方から後に筑摩郡の松本市近辺に遷ったという学説が有力です。ただ、どちらにも遺構がなく憶測の域を出ませんが…。松本駅から東へ50mほど行った地区は「国分町」、そこから南東には「筑摩神社」があり、地名も「筑摩」というように憶測を裏付けるものがあります。「長野」は善光寺平の一部地域を表す言葉で、「長野村」の語源となりました。

さて廃藩置県により信濃は2県の県庁が置かれました（「長野県」と「伊那県」→「長野県」と「筑摩県」に再編）が5年後、放火により筑摩県庁が焼失してしまい、ちょうど統合政策を進めていた明治政府は「筑摩県」を廃止して北信・中信・南信を一つにまとめ「長野県」が完成したのです。

現在長野県は北信・東信・中信・南信と4つの地方に分けられています。それぞれの文化や方言などに若干の違いがあるのが特徴ですが、ただ長野県に生まれ育った県民には共通することがひとつあります。

全国的に有名な話ですが、それは県歌「信濃の国」を歌えるということです。小学校の音楽の授業で必ず「信濃の国」を歌いますし、CDも販売されています（カラオケの曲目にもあったと思います）。

もし居酒屋などに長野県出身者が数人いたとして、多少のアルコールが入っていれば（入っていなくても？）リクエスト次第では歌い出すかも知れません。

（電算印刷 加藤洋子）

★あとがき

暑さ寒さも彼岸まで…とはよく言ったもので、朝晩涼しくなって今年の猛暑ともやっとお別れができた気がしています。

少し涼しくなるとお出かけする気も起きて、先日京都の八瀬から比叡山まで出かけました。ひんやりした空気と、静寂なパワーを頂いて、非日常を満喫してきました。

旅する秋、読書の秋、そして・・・
日本自費出版フェスティバルの秋!

来て、見て、読んで、聴いて、感じて楽しみましょう!!!

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。